

資料 1

関越自動車道高架下活用施設建設懇談会 第三回 スポーツ関連スペース部会 会議要旨

- 1 開催日時
平成25年8月28日（水） 午後6時30分～午後8時15分
- 2 開催場所
東大泉中央地域集会所 2階 会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員（出席委員 8名 欠席委員 2名）
石川正子、内田常幸、小園静子、茨田忍、稲木祐二、川口陽子、
丹野真由美、中島純子
 - (2) 区等
地域文化部長、スポーツ振興課長、スポーツ振興課係長、スポーツ振興課職員、
施設管理課係長、施設管理課職員、設計事務所（㈱I N A新建築研究所）
- 4 傍聴者
1名
- 5 議 題
 - (1) スポーツ関連スペースの基本設計（案）について
 - (2) 次回の部会について
- 6 配布資料
 - 資料1 関越自動車道高架下活用施設建設懇談会
第二回 スポーツ関連スペース部会 会議要旨
 - 資料2 スポーツ関連スペースの基本設計（案）

7 会議要旨

座長あいさつ

資料説明

資料1 第二回 スポーツ関連スペース部会 会議要旨（説明者：スポーツ振興課）
説明内容について出席者からの意見はなし。

案件

(1) スポーツ関連スペースの基本設計（案）について

資料2 スポーツ関連スペースの基本設計（案）（説明者：設計事務所）

意見・要望

□フェンス、ネットに関する意見

（地域文化部長）

人工芝コート北面のフェンスは、どのようになりますか。

（設計事務所）

資料2 A-01に図示した「南面防球ネット兼壁面緑化 立面図」と同様のものとなります。
（壁面緑化に関する参考資料回覧）

（スポーツ振興課長）

アクリルパネル状のフェンスで周囲を囲うと、今年の夏のような猛暑の場合は通風が損なわれ、屋外施設ではあるもののフェンス内は気温が高くなるのではないですか。

（設計事務所）

壁面緑化部分は下地をガラリ（鎧戸）状のもので整備することを予定しているため、通風はあります。また、日射がないことで、多少の暑さの軽減もできると思われます。

（委員）

パネルの耐熱性、耐寒性などの強度はどのようなものでしょうか。

（設計事務所）

高速道路で利用されているものと同様のものです。
（ポリカーボネートフェンスに関する参考資料回覧）

（委員）

コートに張られる防球ネットは、どのようなものですか。

(設計事務所)

防球ネットは、コートで行われる球技を想定し小さいボールが抜けられない程度の網目（メッシュ状）のものを想定しています。防球ネットと防音パネルの間隔は狭いため、防音パネルに強くボールがぶつからないように防球ネットを張る必要があります。

(委員)

体育館の中にある防球ネットのような形状ですか。

(設計事務所)

その通りです。

(地域文化部長、スポーツ振興課長)

図 A-01 に記載された、フェンス 3000mm (F1)、フェンス 5000mm (F2)、防球ネット (NT) について、整理をお願いします。

(設計事務所)

F1 は赤の二点鎖線 (---) で示しており、柱の外周、駐車・駐輪場、管理棟などを囲んでいます。

F2 は青の二重線 (====) で示しており、コート部分を囲んでいます。壁面は「南面防球ネット兼壁面緑化 立面図」に示したものと同様の予定です。

必要となる緑化面積を、平面で確保できないため、こうした壁面緑化で確保しています。

NT は青の単線 (——) で示しており、コートと F1 の内側に張られています。また防球ネット (NT) には防音効果はありません。

赤の一点鎖線 (---) は、敷地の外周部を示しており、フェンスの設置位置ではありません。

(委員)

人工芝コート 2 面の間にある南北方向の F2 フェンスは、風通しのよいものにしたほうが良いのではないのでしょうか。

(委員)

人工芝コート 2 面の間にある南北方向の F2 フェンスは、お互いのコートが見通せるような、視線が通るものなのでしょうか。

(設計事務所)

下部は素通しになっており、見通せるようになっています。

(委員)

敷地の一番西側の駐輪場から、すぐ人工芝コートへ出入り出来る出入口は設けないのでしょうか。

(設計事務所)

施設管理や事故防止などの観点から、出入口を多く設けることは望ましくありません。そのため、A-01 図に示した 2 面の人工芝コートの中央に出入口を設けています。

(地域文化部長、スポーツ振興課長)

利用者には最初に管理棟で受付をしてもらってからコートへ入ることになります。また、本施設は有料施設ですので、施設管理の面からも出入口は一箇所に集約するのが良いと考えています。

(委員)

本施設はそれ程大きいコートではなく、西側駐輪場、管理棟から人工芝コートの出入口まで 25m-35m 程度なので、利用者が歩くとしても特に問題のない距離だと思います。

(地域文化部長、スポーツ振興課長)

フェンス、ネットについては、イメージが視覚的に分かる資料を今後設計事務所にてご用意願います。

□ベンチについて

(スポーツ振興課長)

可動式のベンチなど、図面に記載されている内容について説明をお願いします。

(設計事務所)

可動式のベンチは、A-01 図に B1 と記載した部分です。高速道路の柱の間に背中合わせで設けています。ベンチの前に、可動式の防球ネットを設けています。ゴール置場も同様に柱の間に仮置きできるスペースを設けています。

(スポーツ振興課長、設計事務所)

前回の懇談会の要望であった、物を置く、スポーツ観戦をする、という要望についてはかなえられるようになったと思いますが、柱の周囲を 1.5m 離隔する、という制約があります。離隔については、NEXCO への練馬区経由での質問に対して、未だ回答が得られていないため、不明瞭な状況です。現状はこの 1.5m の範囲内を使用させてもらえる想定で設計を進めています。

平面的には、柱の間にベンチやゴール置場を計画し、断面的には高速道路の床から 1.5m 以内に防球ネットなどを計画しています。

□壁面緑化について

(委員)

日があたらない部分の壁面緑化は育成に問題ないのですか。

(設計事務所)

ツル性の樹種で、日影でも育つものを選定します。

(地域文化部長)

冬季の寒い時期なども、常緑なのですか。

(設計事務所)

常緑の種類のものがあります。

□落下物防止ネットに関する意見

(委員)

落下物防止ネット (RT) について説明してください。

(設計事務所)

現在 NEXCO に対して、想定される落下物や重量など質問をしている段階です。落下物防止ネットについては、コート上部以外に、管理棟、プロムナード、駐車・駐輪場の上部はどのようにするのか、といった確認もあわせて必要であり、NEXCO の回答次第、ということになります。

(委員)

A-02 図、C-No. 1 にある落下防止ネットは、高速道路の床から天井ネット用ワイヤーを吊るしてネットを張っているのですか。NEXCO との協議次第では、離隔 1.5m 以内に入っているので実現できないのではないのでしょうか。

(地域文化部長、設計事務所)

高速道路の構造物に直接ネット用ワイヤーを取り付けているのではなく、A-02 図の右上に示されているワイヤーは、地面からの支柱によって設置されています。ご指摘の通り、ワイヤーとネットは青字で示した建築限界範囲 (離隔 1.5m) 内に入っている点については、NEXCO への確認事項です。

(スポーツ振興課長)

地盤から高速道路の床まで、南北で高さが異なっていますので、コートから天井までの高さは異なるのですか。(南側が低くなっている)

(設計事務所)

コートから天井までの高さは、一番低い位置に揃え均一になるように設計しています。

(委員、地域文化部長)

約 4.1m の高さで、大人用バスケットボール(正規ゴール高)をするのは難しいですから、ミニバスケットや練習用に使用する、ということになると思います。

□その他の意見

(委員)

コート地の盤を掘り下げるといった案については、最近の豪雨の状況や、そもそも施設の大きさからいって大会等を行うものではないので、むしろ雨水が浸水してコートが使えなくなる可能性を考えれば、止めた方がよいと思います。

(委員)

照明器具については、LED を費用対効果の面から検討して下さい。

(委員)

照明は、太陽光を利用した集光器などがありますか。

(設計事務所)

集光器を有効に使うためには高い位置へ取り付けることとなり、そのためには高速道路へ設置できれば良いのですが、NEXCO の所有物に手を加えることが出来ないため、難しいと考えます。

(委員)

制約のある敷地で行う以上、可能な範囲で、また可能な限りの整備を行ってほしいと思います。また、NEXCO からの回答が得られていない部分も多くありますので、まだ検討できない部分もあると思います。

(スポーツ振興課長、施設管理課)

ご指摘の通り、協議が出来るまで結論を出せない部分がありますので、その点はもうしばらくお時間を頂きたいと思います。現在の NEXCO の状況は、回答を得られるまでかなりの時間を要するのではないかと考えられます。

(委員)

3面いずれのコートでも、キャッチボールを行うことは出来ますか。

(スポーツ振興課長、設計事務所)

可能です。また、近隣の方々からのご要望でもありますので、施設整備とは別に運用の方法も合わせて検討します。

(2) 次回の部会について

□現状と今後の予定について

(施設管理課)

現在、地盤調査を9月9日から約1か月間行うことが決定しました。その結果をもとに、施設の基礎や構造体などが確定します。これまで委員の皆様から頂いた意見や、設計内容をあわせて、NEXCOには丁寧に説明し、また速やかに回答が得られるよう要請していきます。

□次回の部会について

(地域文化部長、スポーツ振興課)

次回の第四回懇談会は、今後のNEXCOとの協議の進捗によって、設計内容が決まってきましたら、提示しているスケジュールの通り11月ごろを目処に日程調整の上、各委員へご連絡します。